

私たちの想い それは誓いでもある

# 喜ばれる喜び

使命感を持つ教育機関として。  
沖縄から世界へ

一人でも多くの若者の夢を応援したい。沖縄から世界へ活躍できる人財を育てたい。

それが、私たちの想い。

それは、ここで学んだ若者たちが夢と希望を諦めず自信と誇りを持って生きて行ける未来を提供すること。

そして就職後も伸び続ける人間的にも成長し、企業や組織、他からも信頼され社会から本当に必要とされるような「永久戦力となる人財」を育成すること。

“関わった人たちに喜んでもらえる”そんな教育を提供し続けること、それが使命であり志です。

私たちは、決して忘れません。ここで出逢った、すべての学生たちの『想い』を。

子どもたちの成長を心から願う、ご両親の『夢』を。関わるすべての人たちの『笑顔』を…

私たちはあなたの輝ける未来を支援する永遠のパートナーでありたい。

共に学び、共に成長し共に未来を切り拓く仲間でありたい。

私たちの最高の喜びは、関わる全ての人たちの幸せ。

決意と感謝を込めて 学校法人KBC学園



## KBC学園だからできる 企業連携

### 企業×KBC学園

#### JALグループとの連携で 予約・航空券発券授業

KBC学園が30年以上にわたって確立してきた企業との繋ぎ、また、幅広いジャンルの業界に渡る総合専門学校であるという強みを活かし様々な団体や有力企業と連携した教育体制を整えています。外部との連携を通して産業界が今何を必要としているかを実際に体験して学び、社会に出で必要な協働するための力を養うことを目的としています。

#### 校舎内に美容室を併設 Hair studio milleu with B' m'se

観光業界専門の学校インターナショナルリゾートカレッジ。旅行スタッフを目指すワールドラベル科と空港スタッフを目指すエアラインビジネス科ではアクセス国際ネットワークと連携、航空会社の予約及び航空券発券業務について、専用端末を導入し演習授業を実施しています。実力の証明としてAXESS国内線2級の資格取得を目指します。

旅行・空港のスペシャリストになるために必要なスキルを身につけ、現場で活躍できるようになります。



#### KBCグループの保育園で 実践的な授業環境を実現

#### 社会と動物を繋ぐイベントプロデュースを学ぶ 「ペットカーニバル in 沖縄」 Pet

保育士、幼稚園教諭のプロを育成するエルケア医療保育専門学校 福祉保育科はKBCグループ内の保育園めぐみの森保育園、KBCみらい保育園と連携、協力関係を結び、実習の受け入れや実習前のボランティアを通して、保育園での実習前に現場を体験できる機会を設け、安心して保育実習に臨む環境を整えています。実践的な授業環境を整えることで、現場で活躍できる力が身につきます。



## KBC学園だからできる 企業・教育機関連携

### 企業・教育機関×KBC学園

#### 産学連携(ホテル産業)と 専門講義集中型OJTを実施

インターナショナルリゾートカレッジは、県内ホテルと産学連携し、沖縄の基幹産業である観光・ホテルを楽しく学ぶOJT特別講義に積極的に取り組んでいます。県内専門学校とホテルを連携して教育力・キュラムを組むのは初の取り組みとして、開始した当時、地元新聞にも取り上げられ話題となった。OJT特別講義ではホテル全般的取り組みやフード＆ビバレッジ講義や、ホテルの社員によるマナー講座やハウスキーピングといった、現場で行われている実務などを体験する。参加した学生には、質の高い、利用客から喜ばれる技術や心の想を吸収し沖縄観光の発展のために活躍できるホリマンになっていくことが期待されている。産学連携の講義を通して、ホテル業界の魅力や満足度の高いホテルのあり方を肌で感じ、学校で学んでいることと一緒にしながら成長することを期待し、沖縄ブランドを背負っていくであろう学生を育成するために、今後もこのような教育活動を積極的に行なっていただきたい。



#### 企業主導型保育事業 KBCみらい保育園

KBCみらい保育園は、従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供し、従業員の子育てを支援している。また、近隣IT企業をはじめとした企業とも提携し、その企業の従業員が安心して働く事が出来る環境づくりを支援している。更に地域の子どもを受け入れることにより、待機児童の解消に貢献するという地域貢献に繋がっている。床には免費力を高め室内を素のような空気にする自然素材を使用。窓では室内の空気を浄化する空気浄化装置を使用。また竹炭入り満活蓋で科学物質の吸着をはかるなど子どもの健康に配慮した内装を整えている。更にベビーセンサー設置で睡眠中の危険防止を徹底している。木のおもちゃやダンボール等を活用し創造力を育てており、子どもの健やかな成長を大切にする保育園として利用者から評価を博している。KBC学園グループの専門学校(福祉保育科)で学ぶ学生のボランティア実習も受け入れており、保育士育成の支援というかたちで保育士不足解消の一助となっている。



#### 中・高校生のキャリア教育のサポートを担う 「インターンシップ前マナー講習会」と 「職業別講話・マナー講習会」

県内の中学校・高等学校で「キャリア教育」の一環として、企業の協力のもとインターンシップ(中学校は職場体験)を実施している。KBC学園では学生を受け入れる企業から要望の多い、ビジネスマナー「豊かな人間性を育むマナー講習会」として、インターンシップの前に中学生・高校生へ講習会を実施している。講習会では、働く意義と受け入れている企業や自分にいる環境への感謝心にふれ、学ぶ機会を大切にすることを伝える講話と、組織で重視されているコミュニケーションの方針として「印象の良い態度・挨拶」について実技を中心に関心を持たせている。

毎年、実施した学校から好評を頂き10年続いている講習会となっている。また、高校生対象に職種別に特化した職業講話とマナー講習会をセットにした「職業別講話・マナー講習会」も実施しており職業観を高めインターンシップに臨むため、生徒たちの早期進路決定に繋がるという評価を得ている。



#### KBC学園が応援する 各種スポーツ競技(KBC学園杯)

KBC学園は、青少年の健康で心豊かな成長を願ってスポーツ振興の応援活動として、県内のスポーツ団体が主催する様々な競技大会を支援している。支援している大会は、女子サッカー、中学野球、小・中・高校ラグビー、高校男女バレーボール、高校男女ハンドボール、高校男女スクットボーリングの6競技である。この活動は、20年近く続いている特に男女ハンドボール、男女バレーボール、中学校野球などは派遣がかかる重要な大会として位置づけられている。

選手たちが、スポーツを通して得た絆を将来、沖縄の発展のために発揮してくれることを期待し、この活動が沖縄の未来に繋がることを信じて今後も続けていきたい。



# KBC学園だからできる 地域活動

## 地域×KBC学園

「北海道胆振東部地震被災」  
航空機を利用した  
「離島医療支援活動」ボランティア



KBC学園では、グループ校合同学園祭のボランティア活動において、学園内での運営のほか、街頭募金活動を通じ多くの善意を集めることができました。

北海道胆振東部地震で被災された方々や地域に復興に役立てること、および沖縄県の南西諸島に小型飛行機を使用して医療を届けるMESHサポート隊にお力添えができるならといふ目的のもと集まつた善意を各団体様に寄付贈呈式を行いました。

学生たちは専門的な知識や技術を学ぶことはもちろん、社会人として社会で活躍していくために、このような課外活動・ボランティア活動を通して主体性や協調性を育み、社会から必要とされる人間力を磨いています。



ミャンマーの小学校に  
学園、学校名が刻まれた井戸が完成



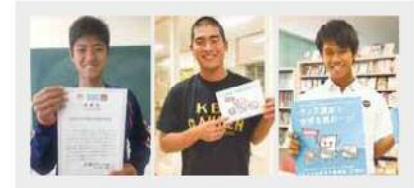
アジアの児童途上国に学校や井戸を建設し、国際貢献されている認定NPO法人アジアチャリティサポートの代表池田邦氏の講話を通じ、安全な水がないために命を落とした子供たちも学校にも通うことができず、貧困から抜け出せない子供たちがいることを知った学生たちが昨年前に募金活動を始めました。貯めた募金額を託しておりましたかっこいの度胸ミャンマーの小学校にKBC学園、エルクアの名前が刻まれた井戸が完成し、感謝状と写真が送られてきました。校舎で作成したアルバの換金券などコソコソと資金をつくら活動でした。いよいよ井戸が完成し、その水を汲んでいる子供たちの姿を見て在校生はもちろん、活動に関わった卒業生、そして職員も人の役に立つ「自己利他・喜ばれる喜びを~」を改めて感じているようです。



## 「ユネスコ世界寺子屋運動」への取り組み



未来高等学校沖縄学習センター・インターナショナルデザインアカデミー高等課程は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「世界寺子屋運動」へ参加した。ユネスコ世界寺子屋運動とは、世界には戦争や貧困様々な理由から学校に行けず、読み書きのできない子ども、大人が約8億7,400万人います。彼らの大半は文字を知らないために多くの情報から隔ざされ、安定した収入に困ります。子どもに教育を受けさせることができない。このような貧困の連鎖を断ち切るために、教育の機会に恵まれない子どもや、大人のために「寺子屋=学びの場」をつくり、「隣学教育」「収入向上」「保健衛生」「人権育成」などのプログラムで、自立した持続可能な社会づくりを支援する活動です。住所や名前などの書き違え・印刷の失敗・余ってしまったハガキ等を集める活動をおこなった。



## 世界中の難民の子ども達に 不要・着なくなった服を届ける



未来高等学校沖縄学習センターインターナショナルデザインアカデミー高等課程は「届けよう 服のチカラ」プロジェクトというユニクロ様とコラボした活動を行いました。

「服のチカラで世界を変えていく」というメッセージを、高校生が主体となった活動は、結果的にKBC学園全体（在校生約1,800人）で取り組む力タダとなり、学校のスローガンでもある「世界をつくる元気な学校」～地域貢献から世界を見つめていく～というグローバル教育～を実現し、活動に参加した学生たちは「やりがい・喜び」という大事なことを実感しました。



## 地域×KBC学園

### おしごと発見はっぴー号



学校法人KBC学園では、沖縄本島、離島の中小学生を対象に、出張お仕事体験「おしごとはっぴー号」を2年前から行っています。学童や中学校、市町村からの依頼が多く、キャリア教育の一環として実施しております。

ご依頼を頂いた市町村は、糸満市、豊見城市、西原町、久米島町、国頭村になり、学童は本島や離島での実施を行っています。

沖縄県の将来を担う子供たちが、夢と希望を持てるように、プロの指導者が学校、学童へ出向き就業体験を通して、職業観ややりがいを教けて教えています。

体験メニュー: 美容、アート、マンガ、動物、ゲーム・情報、公務員、空港・観光等



### 日本最大イベント 「東京ゲームショウ2018」へ出展



東京ゲームショウは毎年9月、千葉県にある「幕張メッセ国際展示場」で開催される日本最大級のゲーム関連の総合展示会です。「新たなアート、謡曲」をテーマに開催した今年の【東京ゲームショウ2018】は過去最大規模の668企業・団体が出展し、家庭用ゲーム、スマホ、PCなど幅広いジャンルの新作タイトルやサービスが発表されました。(2018年は9月20日(木)から23日(日)まで開催され、総来場者数は過去最多となる29万8690人でした。)そんな東京ゲームショウの出展エリアでは「ゲームスクールコーナー」が設けられており、2018年度も 国際電子ビジネス専門学校 ITエンジニア科ゲームプログラムコースの学生が出展を果たしました。



### IDA Design Comp ～デザインで人と街を結ぶ～



「デザイン」を通して「人と街」を結びつけることを目的に、沖縄市雇用促進施設をメイン会場とし、一番街、パークアベニュー通り、ハリコラ通り等の沖縄市の中心市街地で実施した「Design Camp in KOZA」は、地域の人たちから街の活性化に繋がると言葉ばた。

学生の作品展示の他、県内外からアーティストやクリエーターを招いての講演会や学生によるデザイン作品のプレゼンテーション、ファッションショーなどのパフォーマンスで会場が沸いた。また日本の学生の他に高校生の作品展示も行われ、更にオーディオメーカー店のCMで学生が手掛けるという企画なども連絡された。これまでの10年間、沖縄市一番街の空き店舗を利用して実施してきた「リアルショップ」オープンの経験を活かしたイベントであり、地域からの信頼を得て実施に至った。これらも、地域の活動をデザインで盛り上げていく取り組みを継続していかたい。



### 「命の大切さ」を伝える 沖縄ペットワールド専門学校のボランティア



毎年9月20日・26日は「動物愛護週間」と定められている。沖縄ペットワールド専門学校では、「動物愛護週間」のボランティア活動に積極的に参加している。「命の大切さ」を伝えるためのチラシ配布やイベントの案内、動物愛護周辺の説明を行なう街頭チャレンジを行なう。おきなわこどもの国動物園では、小学生以下の子供たちへの興味関心と動物と親しみを持ってもらうために手作りの「動物クイズ・スタンプフリー」を行なう。また、各動物のコーナーで、学校で学んだ知識を駆使し子供たちに分かりやすい言葉とパフォーマンスで動物の生態や見所を伝え、来園した子供たちに喜ばれている。

動物への思いやりは、人への思いやりにも繋がると信じる生徒はこの経験を更に動物愛護の活動へと広げていく。



高度な知識・人間力を  
高める



# 志学

こころざしがく

## KBC学園の人間性教育プログラム

専門的知識や技術を実社会で発揮するためには、社会人としての基本的スキルと自己効力感と主体性を持ち目標を立て前に進む力や、より良い人間関係を築き協働する力を兼ね備えた「人間力」が必要だと言われています。

「人間力」を高めるためにKBC学園は「志学」に取り組んでいます。それにより、高度な専門技術と人間性を磨くバランスのとれた教育が行われています。

「専門力」と「人間力」を高める独自の教育プログラムにより、企業から求められ社会に貢献し続ける「永久戦力」となる人財を送り出しています。

※永久戦力…時代のニーズに応えて力を発揮し続ける  
※人財…財産(宝)となる人



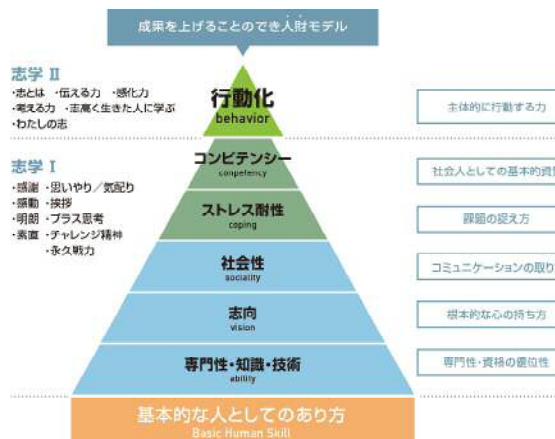
KBC学園の 志学

### 志を立てる

KBC学園の志学授業はIとIIの二部構成となっており、「成果を上げることのできる人財モデル」に沿った流れで行われています。

志学Iでは、人としての基本的な心のあり方や、より良い人間関係を築くための行動のあり方、物事に取り組む姿勢などを学び実践、習慣にし「社会人基礎力」の土台をつくっていきます。

志学IIは、志学Iで学んだ事を土台に、志について深く学び「感化力」「伝える力」「考える力」を通して学び自身の志を立て社会へ出る事を目標にしています。



### 志学の授業風景

志学の授業は、オリジナルテキストを基に講義やグループワークの形式で進められます。また、動画の活用や授業のポイントをスライドにまとめて使用するなど学生の理解がより深められるよう、授業を工夫しています。学生はこの授業を通して、考える、聞く、書く、伝えるスキルをさらに磨き、ビジネス社会で活躍し輝き続けられる力を身につけていきます。



映像を活用した授業風景



学生同士のグループディスカッション



オリジナルテキストによる講義

# “志学”は学生と教員がともに成長を



**こころしがく**  
“志学”は学生と教員がともに成長を

自分を成長させ、多くの人に「何かを与える」人財になってほしい。

エルケア医療保育専門学校  
山越 優毅

志学を通して学生にどのような影響を与えることができると思いますか？

学生たちの意識を向上させることができると考えます。特に当たり前のことに於いては、ただ指示をして守らせるではなく、なぜ大切なか、何のためにやるのかを考えられることで、能力を上げるというよりも習慣のレベルを上げるような感じです。

## Teachers' voice



志学を通して学生たちにどのような人財になってほしいですか？

担当講師のこれまでの生き方や、テキストに出てくる色々な大人の生き方や考え方に対することで、自分自身の姿を成長させて欲しいです。器を成長させることで入学前よりも確実に感じられる幸せの量は増えると考えています。沢山の幸せに気づき、多くの人に“与えられる”人財になって欲しいです。

## Students' voice

働く事とは、自分の成長や、誰かの為にすると言う事を知りました。

働くことは、これまでずっと「生活やお金の為」だと思っていましたが、志学の授業を通して、それだけではなく自分の成長の為や、誰かの為にするということを知りました。志学の授業を受けてからは、何か辛いことがあっても、「それは自分の成長に必要なものなんだ」と前向きに考えられるようになります。一人暮らしも、不安・寂しいという当初の思いから、親にしでもらっていたことや、自分が出来るようになっていくところなど、ポジティブに考えられるように変化したことで、毎日を楽しく過ごす事が出来ています。就職活動も、「自分の働きやすい場所よりも、自身にとって成長できる場所」を心に決め、見事内定をいただくこともできました。



一番大切なことは、資格や学歴ではない。

志学を通して、私が感じたことは、社会に出で一番大切なことは、資格や学歴では無いということです。挨拶や整理整頓、身だしなみなど、当たり前の事が当たり前に出来る人財が社会で必要とされていることがわかつました。このような大切なことを社会に出る前に知ることが出来て、良かったです。私は元々、何か仕事を始める際は損得ばかりを考えていました。意味のないことはしないほうが良い、時間の無駄だと思っていた。ですが、志学を学んで物事に意味のないことはいつも無いことを学びました。物事一つひとつに理由や出会いがあるんだと思えるようになり、何事も前向きに捉えて取り組めるようになりました。



# 実感できる教育プログラム



仕事は生きるための手段のみではない。志に正直に生きる楽しさや充実感を学んでほしい。

ピューティーモードカレッジ  
渡久地 政一郎

志学を通して学生にどのような影響を与えることができると思いますか？

自己肯定感の低い学生や「仕事が生きるための手段でしかない」と考へている学生にとって、これから人生の指針になると思います。結果として学生一人ひとりが変わることで様々な業種で波及効果が生まれ、国を変えるような力となり、ひいては学生に選ぶべき豊かな暮らしや住みよい国というところまで影響を及ぼすと考えています。

志学を通して学生たちにどのような人財になってほしいですか？

志を立て歴史に名を残した偉人も同じ人間であり、学生もそのような人にれるということを学んでもらいたいです。また偉人のようになれなくても自分自身の志を見つけて、志に正直に生きる楽しさや充実感を学んでほしいと思います。最終的には学生一人ひとりが、関わる全ての人々にとって必要とされる人財となっていくことが、やがて学生の幸せにもつながっていくと考えています。

## Teachers' voice



## Students' voice

ミスに対して前向きに取り組むことができ、周囲の意見が成長に必要であると実感しました。

志学の授業を通して、「少しずつ自分でできることから行動すれば良い」ということを学び、どんな失敗やミスに対してもポジティブに取り組むようになりました。自分の苦手にしていることと、逃げずに向き合っていくことで、苦手原因を具体的に知ることができ、克服・解決策に繋がっていくことも実感できましたことは、本当に自分にとって財産となりました。さらに周囲の人の意見に耳を傾けることの大切さも学びました。人の意見に耳を傾けることで、自分では持ち合わせていないヒントや知識を取り入れることができ、自分自身の成長に大きくつながる事も実感しました。



人としてのあり方、内面的な成長を積極的に重ねていきたい。

志学の授業を通して、「感謝」の心を持つことの大切さを感じました。今こうして専門学校に通っているのは、両親の支えや熱心に指導してくれる先生方、同じ夢に向かって頑張る仲間がいるからという事に気づくことができ、この環境で学ぶ事の大難しさを感じることで、授業や検定対策など一生懸命に取り組む事ができるようになりました。志学では、「接客・思いやり・気配り・感謝」など人として大切な事を沢山学び、自分を見つめ直す機会が増え、これまでの考え方とは違う視点で物事を捉えられるようになります。専門的な知識や技術以外に、人としてのあり方、内面的な成長を重ねていけるよう、志学の授業を積極的に取り組みました。

